

2027年度大学院人間文化創成科学研究科博士前期課程8月入試
ライフサイエンス専攻 遺伝カウンセリングコース 口述試験課題

下記の課題についてパワーポイントを用いて口頭発表をしてください。スライド枚数は表紙および参考文献・資料を含めて7枚以内、使用言語は日本語とします。

口述試験時に使用できるものは、発表に使うパワーポイントファイルを入れたUSBメモリのみです。試験時間は発表・質疑応答をあわせて15分～20分程度で、うち発表時間は6分程度とします。発表にあたり、スライドの縦横比、レイアウトについて特に規程はありません。アニメーションおよび発表者ツールの使用は制限しませんが、動画や音声の使用はできません。また、必ずバックアップファイルを持参してください。

発表内容の要旨をA4用紙1枚に800字以内でまとめ、「外国語試験・遺伝カウンセリングに関する基礎科目試験・小論文試験」の前に試験監督者に提出してください。要旨には、受験番号と氏名を明記してください。また、発表の作成に生成AIを使用した場合には、要旨およびスライドにその旨を明示し、別紙に使用した生成AIの名称、AIの使用目的、主要な入力内容を記載して下さい。なお、AIの利用に関する記載の文字数は、要旨の文字数には含めません。

要旨の先頭には、志望コース名（遺伝カウンセリングコース）、受験番号、氏名、パワーポイントを作成したコンピュータのOSについてWindows系かMacOS系か(WinまたはMacで記載)を明記してください。別紙についても志望コース名（遺伝カウンセリングコース）、受験番号、氏名を記載して下さい。

口述試験課題

遺伝カウンセラーの役割として、アドボカシー (advocacy) が注目されている。情報提供、意思決定および適応支援との関係を踏まえ、遺伝カウンセリングにおけるアドボカシーの意義と課題についてあなたの考えを述べなさい。